

第2回 三浦市学校教育ビジョン地域協議会（三崎地区・南下浦地区合同）会議録

○日 時 令和4年8月24日（水） 19時00分～20時14分

○場 所 南下浦市民センター 講堂

○次 第

1 開 会

2 議 事

(1) 審議事項

議 案

1 令和4年度第1回三浦市学校教育ビジョン地域協議会（三崎地区・南下浦地区合同）
会議録の承認について

(2) 意見交換

1 保護者向けアンケートの集計結果の報告について

2 市民向けアンケートの素案について

3 事務連絡

4 閉 会

○出席委員（16名）

座長	市川昌樹	委員	小清水宣雄	委員	札内尚
委員	五十嵐徹	委員	香山賢一郎	委員	柴谷肇
委員	川名大介	委員	前山裕治	委員	伊藤修也
委員	小川哲男	委員	宮坂和彦	委員	藤崎誠三
委員	鈴木隆之	委員	石井宏明	委員	水越翔野
委員	中澤謙介				

○欠席委員（7名）

委員	山田光雄	委員	青木広美	委員	出口悟
委員	武内千恵子	委員	高橋伸昌	委員	鈴木伸一
委員	中原慎一				

○事務局（6名）

教育部長	増井直樹	教育総務課長	塚本孝治
学校教育課長	高梨真一	教育環境担当課長	ソリバン薫
政策部政策課長	矢尾板昌克	教育総務課 GL	浦西伸一

◇座長　こんばんは。定刻になりましたのでただいまより令和4年度第2回「三崎地区・南下浦地区合同の三浦市学校教育ビジョン地域協議会」を開催いたします。

では、早速議事に入りたいと思います。

資料について差替えと追加があるということですので事務局から説明をお願いします。

◇事務局　それでは、本日机上に配布させていただきました資料ですけれども、先だつて郵送したものに若干修正がございましたので資料2-1が修正稿になります。

同じく集計結果の資料2-2、2-3が追加の資料となっています。2-2については回答した親御さんの集計別です。未就学児の親御さん、小学生の親御さん、未就学児、小学生両方いる親御さんというような資料です。2-3は学校別の資料となっております。御不明な点等ございましたらお願いいたします。

◇座長　はい、ありがとうございます。確認のほうよろしいでしょうか。

それでは早速議事に入りたいと思います。

はじめに議案1「令和4年度第1回三浦市学校教育ビジョン地域協議会（三崎地区・南下浦地区合同）会議録の承認について」を議題といたします。

会議録につきましては、すでにお手元に送付してございますが、本案修正等に関する皆さまの御意見を頂戴した上で、誤字脱字等の修正については座長一任とするということについて御承認いただきたいと思っております。

修正等の御意見あれば御発言をお願いできますでしょうか。

（発言等なし）

よろしいでしょうか。

なければ、お諮りいたします。議案1「令和4年度第1回三浦市学校教育ビジョン地域協議会（三崎地区・南下浦地区合同）会議録」のとおりとすることについて、併せて、誤字脱字等の修正については座長一任とすることについて御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

ありがとうございます。御異議なしと認め、そのように決定いたします。

◇座長　続きまして、議事の意見交換に入りたいと思います。

まず保護者向けアンケート集計結果の報告について、事務局より説明をお願いいたします。

◇事務局　それでは、資料2-1をベースに資料2-2、2-3を御覧いただきながら説明したいと思います。

まず、保護者向けアンケートにつきましては、令和4年6月8日～22日までの間に実施いたしました。今回は単純集計の結果が出ましたので皆さんに御報告いたします。

配布数につきましては、三浦市立小学校に通う児童保護者1,116名と令和4年5月1日現在の、未就学児保護者565名、合計1,681名になります。

1の基本情報につきましては、各小学校別の回答件数、未就学児の保護者に対しては入学予定校ということで集計しております。回答率につきましては資料記載のとおりですが、全体の回答率は46.5%となっております。

次に、設問2小学校について①は、小学校の教育に重要視するものを5つ以内で選んでくださいという設問です。「1 基礎的・基本的な学力を伸ばす教育」、「11 自尊心や思いやりなどの心を育てる教育」、「7 社会性やコミュニケーション能力を伸ばす教育」、「12 マナーや社会のルールを身に付けさせる教育」、「2 多様な意見や考えに触れ、切磋琢磨できる教育」というところが多く選択されておりました。

その他の意見としては、「日本の伝統文化、正しい歴史教育」、「毎日、学校で楽しく過ごせること」といったことが書かれていました。

次に2-②です。1学級の上限児童数35人を基準と考えた場合、2-①で選択した教育を達成するためには、1校あたりどの程度の学級数が必要と考えますかの設問に対しては、3～5番の、今以上の規模が必要という回答が、全体の73.5%でありました。

そのうち「統廃合には反対する」というものが規模は今よりも大きいほうがいですが、それでも統廃合には反対というものが16.9%ございました。また、この統廃合には反対という16.9%と複式でも良い11.4%、1学年単学級が必要と答えた方11.9%を合計すると現状維持または少なくともいいという方を含め、統廃合反対という方を合計しますと40.2%という数値になります。

学校教育ビジョン策定前の平成28年に実施したアンケートと比較すると、当時はおよそ9割が1学年2学級以上がよいとした結果に比べ、今回のアンケートでは複式学級でもよい11.4%、単学級が良い11.9%ということで、小規模についての回答が増加したという結果になっています。

続きまして、2-③ 複式学級でもよいと回答された理由としては、資料記載の結果のほかに、その他としては「児童数が少なければ学力に差が出ないのではないか」、「学力別で小人数のグループがよい」といった御意見がございました。

続いて2-④ 1学年複数学級が良いと考えるが、統廃合には反対すると回答された理由としては、通学の問題、安全性、体力的問題についての理由が多く、その他としては、「今の学校が好き」、「生徒と教員の関係がとても良いので」、「子育て世代の安住が減少してしまうのではないか」、「過疎化が心配」、「校舎の跡地利用を示すべき」などという御意見を頂いております。

続きまして、2-⑤では、今以上の規模の学級数がよいと答えられた方への設問になりますが、選択した規模を確保するためには、今後、統廃合を実施することが必要ですが、あなたのお考えに近いものをとということで聞いております。回答は資料記載のとおりですが、複式が見込まれる学校から段階的に進めるというのが65%となっております。

続いて2-⑥は、統廃合を検討する上で、注意すべきこと、講ずべき対策について全員に聞いております。回答は「登下校の安全策」、「通学費負担」などの御意見が多

く、その他としては、「通学時間の差が学習時間の差にならないようにケアしてほしい」、「各学校に学童保育施設を設置してほしい」、「子育て世代が住みやすい環境整備が必要」、「災害時の安全確保」、「在学中の子どものケアをしてほしい」などの御意見がございました。

続いて2-⑦では、理想的だと考える1学級あたりの児童数を全員に聞いております。回答は、21人～30人が一番多く、11人～20人と合わせると、9割以上の件数となっております。先に実施いたしました、教職員アンケートでも同様の結果となっております。その他の意見としては、「35人以下であればいい」、「細かく人数を刻んでほしかった」といった御意見がございました。

続きまして、3 学校教育以外に関することで、小学校に期待するものについて、こちらも全員に聞いております。回答は、資料記載のとおりとなっておりますが、その他の意見としては、「保育施設」、「多目的利用施設」、「図書館として機能していただきたい」というものがあります。

最後になりますが、本日の報告いたしました単純集計の結果につきましては、学校教育ビジョン地域協議会こちらでも今後、この結果に基づいてビジョンの見直しについて協議をしていただこうと考えております。本日、配布した資料もございますので、持ち帰り見ていただいて気が付いたことがあったら連絡をいただきたいと思います。

また、本日配布した資料でこういった分析が必要ではないか、こんな資料をまとめるというのではないかというような御意見がありましたらよろしく願います。

以上です。

◇座長 はい、ありがとうございました。一項目ずつということではなく、全体をとおしてということで見なければと思ってはいますけれども、何か御質問等あればお願いいたします。

◇事務局 まず全体の46.5%という回収率は事務局としては少ない数字だと感じております。7割8割回収できるのではないかなという風に思っていたのですが、一つの回収率が悪かった点としては郵送提出にしたということが挙げられると思います。学校の先生に提出するという手法をとればもっと回収率が高くなってきたと思っております。

ただし、これは不正や改ざんがないようにという配慮のもと郵送提出と今回しておりますのでこの結果は致し方ないのかなと思っています。

◇委員 今回の回答率の件で確認なんですけど、これ未就学の児童が全体で565人で今回の返答が未就学保護者が193で両方が194だから未就学に限って言えば565分の大体400人くらい回答が返ってきているという理解でいいですか。

◇事務局 この配布数の未就学児の565人は単純に未就学児のみを養育している保護者の数ですので、今の両方という数は小学生の数に含まれているので未就学児のほうが高かったという事実はないと思います。

◇座長 はい、ありがとうございます。

質問に限らずお気づきになった点とか、この辺りどうなんだろうかというような御意見も含めていかがでしょうか。

◇事務局 この46.5%は、私たちの希望よりもかなり少なかったということで少し事務局としては思うところがありますけれども、一般的なアンケートの回収率は3割行けばかなり返ってきたというところですので、それを思うとかなり関心は高かったとは言えると思います。

◇委員 自分たちの問題だという認識が保護者の中にそれほど多くなかったんじゃないですか。

◇事務局 そういったことは言えるかなと、どうしても身近な問題ではあるんですけども、まだ真実味がないと言うか、あとは回答しなくてもこちらで決めたようになるんだろうなと思っている方が多いとか、そういったことがあるのかなと思っています。

◇委員 それが理想的だと考える1学級あたりの児童数21人から30人の512人66%の回答率になっていますが、これ実際にはそういう意味で言うと三浦市として実現がどうなのかというところが全然入ってなくて単純にクラスがこのくらい的人数がいいんじゃないのという回答じゃないかなと。

◇事務局 この人数を確保するためには多くの学校を統合しなければならないという事実はあるんですけども、その事実は置いといて、とりあえず希望数だけ言ったというかたちの方が多かったかもしれません。

◇委員 うちは神奈川新聞しか取っていないんですけども、神奈川新聞で結果発表しているこのパーセンテージ、それから新聞に入れられるタウン誌の表現が複数学級80%以上が希望しているというニュースになっています。大きなタイトルで出ています。それがどこから出てきたのか分かりませんが、これはこれからいわゆる一般の人に対するアンケートでちょっと引張られるような回答が出てくるんじゃないかなという感じがしました。

◇事務局 確かに新聞によって捉え方が違ったというのはあったのかなと思います。

◇委員 複数学級8割賛成という回答が出ているという表現になっている。

◇座長 ほかにいかがでしょうか。

◇委員 一点私の所見も含めてなんですけど、その先を見据えた5年、8年、10年後のアンケートでお出ししたと思うんですけども、その中で極端に言うと複式学級でもいい

ってというのが1割あったというところと回答率が46.5%だったことも踏まえて、その回答の方が学年別ですよ、例えば5年生、6年生しか持っていない保護者が、もしかしたら答えてないんじゃないかと、それは要するに何年後、自分の子どもが大人になった時の学校教育までを考えられていないっていう風に捉えられるような数字があればそのなぜ答えなかった人がいたんだってなった時に5、6年生の保護者って単純に言うところのこの学校にも1/3以上いて、逆にもっと上だと思えますよ。今低学年のほうが少ないので、そうなってくると5、6年生の保護者が3年後、4年後自分の子どもには関係ないからというような所見も考えられたのかなとこれを見て感じました。

◇事務局 十分考えられると思います。

◇委員 まずはアンケートお疲れ様でございました。

回答率46.5%に関しては、市議会議員の選挙の投票率よりも高いと、こういう情報がありますので僕はこのアンケート、特に郵送というハードルの高さに関して見たらかなり返ってきたのではないかなという風に思います。

それで、これを見た感じ登下校の安全性とかお金の問題というところがかなり浮き彫りになってきたと思うので、伊東市が統廃合した時に通学費の補助をやっていたみたいなんですね。御存知だと思うんですけど、そういうことを基本的に進めていけば大きく反対の声は出ないのかなと楽観的な考えもあるんですけども、いいアンケートが徴取できたんじゃないかなと個人的な意見はあります。以上です。

◇委員 結構、その自分、野球の監督をやらせてもらっていて、保護者からも統廃合どうなっているのってよく振られるんで、色々話をしていると不安なところが何人かいるみたいで、震災の時に例えば南小と南中の2つで避難訓練も合同でやっていないし、お迎えとかもごった返したりすると思うので、これが色んなところが1校に集まった時に震災の時どう迎えに行けばいいのかとか、ってというのが結構話で出てきている状況があるので統廃合に反対とか賛成とか云々じゃなくてそういうところが結構話が出たりしているのが現実であるので、そういうところをしっかりと詰められればもうちょっと興味を持ってくれるのかなと感じはします。

◇事務局 廃校後の学校施設利用に関しては、直ちに解体ですとか売却するとかではなく、防災の拠点として利活用していくと言ってしまっていていいと思います。避難所としては活用していく。

◇委員 震災時のお迎えですね。子どもが例えば学校に残っています、各家庭で迎えに来てくださっていった時に、たぶんみんなバスで通っている子もいるし、結局、震災なんで車も使えない状況で、どうしようって言うのが結構みんな不安みたいなんですね。例えば剣小学区に住んでいて剣小に迎えに行くよっていうのはすぐに迎えに行けると思うんですけど、うちは娘が今、南小に通わせていて、自分が剣小学区で結局送り迎えは車になってしまうので、震災になった時に車が出せないってなった時にどうしようかな

って思っていることがあるんですけど、それがみんな結構不安がっている部分があります。そういうことをもうちょっとクリアにできていければ、もうちょっと違うのかなっていう。

◇座長　今すぐこうしますとうことは言えないところですけども、ありがとうございます。

ちなみに、南小と南中の合同避難訓練っていうのはちょっと前まではやっていたんですが、コロナになってしまったので密になるとあれだねってところで今止めているんですけども、何らかのかたちで合同でやりたいねっていうのは両校の校長で話しています。

お迎えに関しても去年の大雨の時に一気に来てくださいという電話をしたらものすごい状態になってしまって、すごい迷惑をかけてしまって大反省していて、学年別に声をかけていくとかその辺りのことを小学校と連携をもってやっていく必要があるねなんていうことは校長同士で話をしているところがあります。

その他アンケートの中身のほうでいかがでしょうか。

◇座長　回答理由の部分で先ほど話題になりましたけれども、その状況の中でこれだけの数 46%近く出してくださっている方の意識の高さっていうところをその意識の高い方がこういうかたちで回答しているんだという意味では、すごく有効な数字になるんじゃないかなと私は考えます。

◇委員　今お話があったように回答される方は意識がある方で、回答されない方は逆にどうでもいいって言ったら失礼ですけどあまり重くは取っていないから回答してないってこともあるんですよ。先程のお話があったように未就学児と小学生児のパーセンテージを簡単に計算してみたんですけど未就学児のほうがやっぱり返却率が 34%、小学生のほうが 32%返ってきましてやっぱり先程言われていたように、何年後のことなので小学生のみとなるとやっぱり自分の子どもは卒業とかしてたりして、他人事じゃないですけどそういう捉え方をしている人も多んじゃないかなと、だから逆に未就学児の方のほうが自分のこととして回答率が高かったのかなと思いますし、このアンケートを見させていただいて、アンケートをだしていただいたほとんどが統廃合をしないほうがいいんだろうけどせざるを得ないということで納得しているんだなと思いますし、統廃合をするんなら通学路の問題を視野に入れて欲しいなと、このアンケートの中から読み取れるんじゃないかなと思いますのでこのアンケートを書いて返ってきた人の意見は、ほとんどの方ががしないことに越したことはないだろうけど、現状からするとせざるを得ないと思って回答したんじゃないかなと私は思います。

◇委員　私も 46.5%の数字は高いんじゃないかなと思っています。その中で答えたくないから答えなかったという方、面倒くさいから答えなかった方もいらっしゃると思いますが、多聞に先ほど、他の委員がおっしゃったように早く具体的なものをお示ししてくださいというイメージ、逆にそこに現状保護者としていらっしゃる方、言葉は悪いで

すけどそっちの方向に向かっていっているんでしょっていうような方もいらっしゃると思うんですよ、そういう方に対しては答えを出さずにそうなるだろう、早く具体的なものをっていうようなことで、46.5%が出ているのでそこを皆さんで協議していくほうがいいんじゃないかなと。

◇事務局 この後、議題になっております市民向けアンケートは第三弾で9月に実施します。教職員向け、保護者、市民向け3本のアンケートをまとめた上で地域協議会で協議していただくかなと、それをもって学校教育ビジョンの見直しを進めて、スケジュールについては年内を目標に見直しができたならと進めていきたいと思っています。

◇座長 その他いかがでしょうか。よろしいですか。

南地区の協議会で発言したことがあるんですけども、学校をくっつけようとした時に、来年の4月からとはならないですよ、その準備のための時間というのもあって、それを含めていくとやっぱり毎年どんどん1年生は入ってくるという状況があって足踏みばかりしていると中々前に進まないですよっていう話をさせていただいたんですけども、その中で南地区は統廃合を進めていくためには具体的にどうしていかうかというところで、話が進んでいた経過があります。そういう意味で具体的な姿が見えてくるとまた色んな御意見が出てくる部分があると思うんですけど、総論としてこういう方向性っていうのは少し見えてきているんじゃないかなと動いていくんじゃないかなと僕はしているんですけども、座長としてではなく個人的な意見になりますけれども、保護者向けアンケートについてはこのぐらいでよろしいですか。

あとは市民向けアンケートの結果等を含めながら学校教育ビジョンの見直しに入ってくるというところになっていきますので、それでは市民向けアンケートの素案について事務局から説明をお願いしたいと思います。

◇事務局 それでは資料3-1、3-2、3-3を御覧いただきたいと思います。

表紙のところにつきましては、保護者向けアンケートよりも言葉は短く、あまり長いと見る気がなくなってしまうかなと思いますので文字は少なくしています。

表については8月4日現在の最新の推計に保護者向けアンケートから最新のものになっています。グラフ1となっていますけれどもこちらは昭和50年から令和2年までの0歳から14歳までの子どもの数です。統計上のカウント値なので中途半端な数字ですけども、これだけ減っているんだよっていうアピールを示したグラフになります。また、平成から令和の元年期間でも5,800人が減少しているというところの表になります。さらに直近での数字で毎年100人から200人程度ずつ減少しているというのもお知らせしたいというところで表にしています。

設問のほうになります。基本情報につきましては年齢別、地域別、それから学校との関わりについて聞いています。週1回以上行かれています方はほとんどいないと思いますが最近1年間について聞いています。それについての目的、何の目的で行きましたかということも2-②で聞いています。2-③ではこれまで学校が地域で担ってきた役割で重要だと考えるもの聞いています。ここは複数選択可としています。

3の学校教育についてですが、これは当初あまり聞かなくてもいいのかなと考えていたのですが、やはり学校教育ビジョンの見直しをするにあたっては触れないわけにはいかないかなという判断をして学校教育についても大きな3番で聞くことにしています。3-①については、保護者アンケートと似たようなことを聞いています。言葉は変えていますけれども学校が大切にすべきことについて聞いています。そして、3-②こちらは、やはり学校教育ビジョンに繋がるアンケートですので、学校の規模について複数学級がいいのか単学級がいいのかというようなところを聞いています。

先程表紙のところでも申し上げましたが3-③では今後さらに減少していく事が見込まれる中で統廃合についてどのような手法でやったらいいかということでこちらも保護者アンケートと同様に言葉は違っていますが、子どもが少ない学校から統廃合というようなものと複数学級の規模となるようにというようなところで、または現在の運営でいいですよということを聞いています。最後に3-④では、仮に廃校になった時に学校として使用しなくなった場合に施設をどのように活用していくかについて併せて聞いています。

市民向けアンケートについては以上になります。

◇座長 はい、ありがとうございました。

それでは御質問等ございましたらお願いいたします。

◇座長 シンプルな質問なんですけど裏面の3-③児童生徒数の減少に伴ってという質問の上から3つ目、子どもが少なくなっても現状の小学校の運営は存続すべきっていうのがよく分からない。小学校の機能は存続すべきという意味でしょうか。

◇事務局 現状のままということと言いたかったところだったんですけども。

◇座長 運営っていう言い方をすると学校の在り方的な捉え方をされないかなと思ったんですけど。

◇事務局 小学校は存続すべき。

◇座長 教育委員会では一定度の学校規模は必要だと考えていますが、現状の小学校の運営は存在すべきで伝わればいいんですけど。

◇事務局 現状の小学校が存在すべきを省略しましょうか。いかがでしょうか。
統廃合はしない。現状の小学校のままで。

◇委員 逆にもっとストレートに子どもが少なくなっても統廃合はしないべき。

◇座長 統廃合すべきではない。

◇委員 統廃合すべきではない。結局、するのかもしれないか確認したいだけなんでもっとストレートに。

◇事務局 子どもが少なくなっても統廃合すべきではない。

◇座長 よろしいですか。ほかにいかがでしょうか。

◇委員 関連して、すみません見落とししていました。

3-③の質問の文言、文章、なんですけど、一行目の「、」のところが足してあるんだろうな、付け加えてるからなんだろうけれども少しとおりが悪い、「減少に伴い、また、～見込まれる現状、」次の二行目のところの「が」で接続助詞で前提として書いているんだけどもその「が」の扱いのところが後ろのところの繋がりがちょっと意味としてとおりが悪いんだろうなあと、さらに先程おっしゃっていた「統廃合についてお聞きします。」だとちょっと漠然としているような気がするので、文そのものを変えた方がいいのかなとストレートに書き直した方がいいのかなという風に思いました。

◇座長 代案出ますか。

◇委員 「今後、児童生徒数の減少がさらに見込まれるなか、」というようなかたちで一行目の点2つは解消されますし、「教育委員会では一定程度の学校規模が必要と考えています。」丸で切っておいたほうが「が」を使わないほうが文としてしっかりと思われます。

◇座長 では、「小学校の統廃合の是非についてお聞きします。」くらいで。

◇委員 そうですね。明確にしていくんだったらそのほうがスッキリするのかなという気がしました。

◇座長 今の部分はちょっと代案ですけど、あとは事務局に投げてよろしいですか。その他の点でお気づきの点ございますでしょうか。

◇委員 3-③のところの上から二番目の「児童の少ない学校から統廃合すべき」って書いてあるところがあるじゃないですか、そこなんですけど保護者向けアンケートのところに入っていたら結構皆さん賛成する方が多いのかなと思いました。

◇事務局 保護者向けアンケートでは「複式が見込まれる学校から段階的に統廃合を進める」という言い方になっていますね。

◇委員 保護者向けアンケートの2-⑤のところですか。これと同じってことですね。

◇事務局 もう少し一般市民向けというところで、説明が足らなかったんですけども18歳以上から上限を決めていませんので高齢の方が多く該当してしまうのかなと、無作為抽出で1,200名の方ですので、なるべく分かりやすいほうがいいと考えています。

◇委員 皆さん2-⑤でこれを読み取ってその結果で65%だったってことでよろしいですね。

◇座長 ありがとうございます。

気になることはどんどん出していったほうがいいかなと思いますのでよろしくお願ひします。

◇委員 この3-②の質問なんですけどちょっと言い方悪いかもしれないですけど、高齢の方に学年複数学級って言って分かりますか。

◇事務局 ここはあとから括弧書きで1学年2学級以上と記載しているんですけども。

◇委員 ちゃんと理解できますかね。

◇事務局 それを考えるとキリがないかなと思っているので、高齢の方と一言で言ってしまうても理解のできる方、難しい方いらっしゃると思うので、何か他に分かりやすい代案、言い方ありますか。1学年複数学級を除いて括弧書きの1学年2学級以上だけにしてしまうとかですかね。

◇委員 そのほうが分かりやすいかもしれないですね。直感的に見て1学年で2クラス以上あるのかなってというのが分かればいいと思うんですけど、複数とかいれちゃうとどうなのかなって正直なところ、もっと簡単な文章で市民向けはいいと思います。

結局のところ統廃合に賛成か反対かを聞きたいわけじゃないですか結論は、なのでもっと端的でいいんじゃないかなとそんなにオブラートに包まなくてもいいんじゃないかなと思います。

◇事務局 その下が1学年1学級ですので、設問としては1学年2学級以上というほうがシンプルですね。

◇委員 そうですね。

◇委員 先程も言いましたけれども、1学年複数学級よりも1学年複数クラスとか、学級っていうのは18歳の子もわからないかもしれない、一つの学年に何個もクラスがあるんじゃないかと1学年2クラス以上っていうのはどうでしょう。その中で「わからない」という設問はどうなのかなと思っていたんですけども、本当に分からない方は「わからない」に付けちゃうのかなと思ったり、あと設問の学校との関わりで週に1回以上なんていないですよ。もしいるとして考えると1回程度とか、ほんとにこの設問

で1回くらい言っているのであれば1回程度とかそれか違う言葉にするのか、それともこの場で削除するとか

◇事務局 以上のところをすべて程度にしますか。

◇委員 週に1回以上はあると思うんですよ、社会体育で体育館を使っている人とか、そのところが学校との関わりっていうのが建物なのか、子どもなのか、その部分ですよね。ただコロナでここ一年間は厳しいかなっていうのもありますけれども。その小学校に行ったっていうのと社会体育でやっている人たちをどう捉えるかっていうので、自分たちのあれは違うのかってなっちゃうのか、その学校の建物の中に建物を使ったっていうので捉えるか、そのところが曖昧になってしまうかもしれないですよ。1回以上、社会体育で使っているっていう人もあんまりいないと思うんですけど。

◇委員 それに付随して、2-①から続いた②の設問が学校に行った目的についてお聞きしますっていうのが①と連動しているのであれば、最近1年間と付け加えていただかないと例えば高齢の方が60年前に行ったことがあるよって状況がPTA活動で自分が当時、保護者だった立場だったから行ったよってことにも捉えられるので連動しているお答えを問うようであればそのようなかたちにしていきたい。

◇事務局 連動を考えていたので頭に「最近1年間」を追記します。

さっきの以上と程度の話は、すべてを程度に書き換えたほうがいいですか。

◇委員 スパンが長くなればなるほど程度と以上は難しいですよ。半年に二回行った人は半年に一回程度には答えられない、難しいですよ。

◇委員 自分野球やっているので週に2回は必ず行きます。土日にどこかの学校のグラウンドを使用するのでそういう人はサッカーとかも大会がない限り週2回は使っていると思うんですよ。

◇委員 そういう答えでいいんですかね。

◇委員 それが学校に行ったことになるのか。

◇委員 教育活動に関わったとかそういうのではない。

◇事務局 そうですね。

◇委員 この対象の市民っていうのは、今度、保護者は除かれますか。

◇事務局 除かれませんが重複する可能性があります。

◇委員 重複の可能性もある。

◇委員 先ほどの以上を程度に変えた方がいいんじゃないですかという御提案です。御検討ください。

◇委員 ちょっと質問いいですか。三中とかもそうだったと思うんですけど学校としての機能を停止した場合でも体育館とかって使わせてもらっているじゃないですか、そういったところも触れていかないと体育館、週1で使っていたのに使えなくなっちゃうのって思われて、思ってもいないところで反対の声が出たりとか、そういったところもちょっと触れたほうが、アンケートなので難しいんですけど、一般の人たちが使っているのってほとんどそれが多くてそこが取られるのが不安っていう人は、少なからず学校を使っている人にはいると思うんですよね。そこは触れたほうがいいのかと、前置きの部分なのかどうという風に教育委員会として、その後の利活用を考えているのかにもよりますが、その説明が無しにこれがいくと、もしかしたらちょっと取りたくないアンケート結果が取れてしまう可能性もあるかなと思います。

◇事務局 今現段階で〇〇小学校を廃校にするっていうのは決められていない以上、言えないかなって思います。その辺はビジョン見直しと同時に告示させていただければかなと思っています。

◇事務局 基本的には今のお話は学校施設の活用についてはすべての活動をクローズしてしまうとは思っていませんので、その辺りをどう表現できるかちょっと預からせていただくかたちになろうかとおっしゃる意味はよく分かりましたので検討します。

◇委員 協議会が始まった頃は、施設については使わないと避難所なんかについてもこれから検討していくという回答でしたね。

◇事務局 検討はしていきますけれどもこの時点で完全にクローズするという考えではなかったかと思います。学校として今、委員がおっしゃったグラウンドや体育館のことだと思っただけですけども、そちらについては完全にクローズするという考え方はなかったかなと思います。

◇委員 そのこの部分の話は出なかったと思うんですよね。体育館だとかグラウンドについては、あの当方で反対の人が多かった。この中の文言としてやっぱり避難所がどうかといった文言が多かったかと思います。どちらでもいいんですけども、先程言われたようにこれから先どうなるんだということをある程度分かるようなかたちで提案がなされないと、やっぱり回答する人の回答したその後からまた中身が変わってくるのでは困るんじゃないかなと思います。

◇事務局 そちらの表現方法も含めて齟齬がないように少し検討させていただくかたちでよろしいでしょうか。

◇委員 最後の設問が仮に学校として使用しなくなった場合に施設はどのように活用すべきかお聞きします。という質問があつてこのところを教育委員会としてはこう考えていくというのをちょっと恣意的になってしまいますが、今、事務局がおっしゃられたような事柄が前段の一文があり、教育委員会としてはこう考えています。施設としてはどのように活用すべきかお聞きします。というような設問だとまずいんですかね。そうするとこの中の選択肢に防災拠点、避難所も入っていますし、生涯学習やスポーツのための施設というのもありますのでここでお二人の疑問は解消されるのかなと思いますがいかがでしょうか。

◇事務局 ここに入れるか、もう少し手前で説明してしまうか個人的には思っています。最後まで読んでいただいてちゃんと関連付けて考えていただくと分かるなとは思うんですけれどもそこまで行きつく前に、学校無くなったら困るなというような方もいらっしゃると思っておりますので、今の委員のお話はいくつかある案の中の1つだと思っております。少し検討させてください。

◇委員 全然違うことなんですけど、一番最初の基本情報のところの①の年代で80歳代以上も入れたほうがいいんじゃないかなと思ひまして、というのは三浦市の今の人口年齢から90歳代以上まで入れなくていいと思うんですけど、70歳代、80歳代の人の回答っていうのが一番多いと思うのでここは入れたほうがいいと思います。

◇座長 では、そこは検討していただくということで、その前のとこに戻りまして委員会の考えを入れながらというところで、勝手に誤解してこうなってしまうと決めているようなところが、例えば見られるようだとしたら本当の意味での規模になっていかないの、こんな風に考えているんだけど皆さまはどう考えますか、的なかたちがどこまで出せるか難しいですけれどもそうするとかなり安心して答えられる、こう考えているんだったら私は反対です。ということも含めてしっかりと答えられるんじゃないかなと、言えることと言えないことはあるので、絶対学校を残しますなんてことは言い切れないところは当然あると思うんですけれども、うまい表現を見つけていただければというところをお願いできればと思いますが、このところは事務局にお預けしたいと思ひますので御承知おきください。

あとはよろしいでしょうか。

非常につまらないという言い方をしたらあれなんですけど学校教育に期待すること3-①ですね学校が大切にすべきことで学校教育について期待すべきこと学力の向上っていうのが一言も触れられていないので、いかがでしょうか。

◇事務局 保護者のアンケートでも一番多かった項目ですので、ここは追記したほうがいいと思います。

◇事務局 すみません、漏らしていました。

◇座長 大事だと思っています。

◇委員 一点よろしいですか。大分前に戻ってしまうんですけども、最近1年間に何回くらい小学校に行ったかというところに施設利用含むと一言入れておけば誤解がなく、いい感じがするんですけども。

◇座長 はい、具体的な案をありがとうございます。

では、市民向けアンケートにつきましてはこのような方向でよろしいでしょうか。

◇事務局 一点なんですけれども、今日いただいた意見は事務局として検討して修正いたします。また前回の保護者アンケートのようにまた皆さんに郵送でお送りいたしますので一定の期間時間を空けますので御意見等いただいた上で会議体は持たずに進めていってよろしいでしょうか。

◇座長 9月にはやりたいと思いますので、そういう意味では郵送的な部分での確認ということでのお願いしたいということですけどもよろしいですか。

(異議なし)

◇座長 それでは、そこは事務局にお願いしたいと思います。

あと全体を通していかがでしょうか。

◇委員 市民向けの調査のところでは基本情報、学校との関わりもいいんだけど、学校教育ビジョンをご存知ですかは何で入れなかったんですか。そこからじゃないんですか。

◇事務局 関心がある、ないもありますので。

◇委員 ある、ないじゃなくて、そこに入れることによってこの次の二次元バーコードを見る人もいます。肝心の教育委員会のアピールというか、宣伝というのが全然足りないと思っています。

だからその参照に入れることによって二次元バーコードを見る人もいるんじゃないか。分からないものに対してアンケートに答えるというのは無理ではないでしょうか。

あともう一点、最初の段階で令和7年を目途に、元々の話であったじゃないですか。ここが一番最初のページの令和7年のところに三崎地区、南下浦地区もう一マス開けて統合したら何人何クラスっていうのを入れてみてもいいんじゃないでしょうか。そのほうがざっくり分かっていいと思います。教育委員会はやりたいがためのアンケート

ですよね。進めるためのアンケートですよね。それに対して市民がどう思うかのアンケートだったらそういう数字も入れたらどうですか。

◇事務局 令和7年度にまとめて3校にするというのは。

◇委員 なった場合には、何人で何クラスを入れてもいいんじゃないですかという提案です。やれと言っているわけではありません。

◇座長 令和7年度というのはすでに無くなってしまっているものなので、その辺りどう扱っていくのかっていうところで、教育委員会として目指していく方向を伝えていくのには効果的ではないかという意見であるかと思いますが。

◇委員 元々、令和7年にはこうなってしまうから令和7年までにはこうしたいということだったんだから、この数字は入れてもいいんじゃないですか。っていうのが私の個人的な意見です。

◇座長 はい、御意見としてお願いいたします。

学校教育ビジョンをご存知ですかっていうところは、たしか前の会議でも意見があったかと思いますが削った経緯はなにかあったんですか。

◇事務局 アンケート内容は庁内の検討会議で検討しているんですけども、その検討資料の中にはこの学校教育ビジョンをご存知ですかっていう直球ではないですけども、統廃合にご興味はありますかとか、というようなものは入れていましたが、これを聞いてどうするのって話があったので設問としては削除しました。

◇座長 経過は分かりました。今、委員がお話している中ではそういう項目を作ることによって意識してもらえないかなという意図があって、それは大切ではないかっていうところが意見でありまして、その辺りを含めて庁内で検討していただくということで、最終結論はお任せするしかないかなということによろしいでしょうか。よろしくお願いいたします。

◇委員 アンケートの無作為抽出で送られる資料は3-1、3-2までですか。3-3もですか。

◇事務局 3-3もです。

◇委員 ただ現状として、計画を見直しているという文字が2行目にのっかっているのにあえて教育ビジョンを載せるっていうのも逆に反比例というか、見直しているのを見てよっていうか、市長も言っていたように見直しましょうっていうのを聞いていましたし、その辺ですよね。

◇事務局　もちろん見直しの中で我々のほうで説明する言い方としては、令和元年度に示した学校教育ビジョンの基本的な骨格は変わってはいません。複数学級で切磋琢磨したほうがいいだろうという思いは変わらないということで、まったく学校教育ビジョンの考え方には一度見ていただくという必要があるかなという思いはあります。見直すには元を見ていただかないと思います。

◇委員　打ち出したものを引き下げてまたもう一回見せて、本当にそれを見せるのは先程委員もおっしゃっていましたが、令和7年に三崎地区統合したらこの人数というのを打ち出すべきではあるかなと思いますし、そこは難しいところですよ。結局この教育ビジョンを見た瞬間に知らない人が令和7年に統合されるようなビジョンになっているんだ学校って、と捉えたときに本当に初めてこのアンケートを答える人が最終的に一番、廃校後の活用に期待して見ているのか、学校との関わりっていうアンケートを考えているのか。

◇事務局　保護者アンケートの時には表紙の部分で「令和元年度に教育ビジョンを策定しました。ただし、策定後さまざまな御意見をいただき今回見直しをする運びとなっております」という説明文を入れているんですけども、同様のものを今回表紙に入れたほうがよさそうですか。単純に文字が多いと見ないのかなという思いでメッセージとかを減らしています。

◇委員　結局資料3-1は三浦市立小学校に関するアンケート調査、ただ資料3-2は三浦市学校教育ビジョン市民向けアンケート設問ですよ、ということは教育ビジョンに関する設問に捉えられてしまう、一番後ろには令和7年度の計画を二次元バーコードで見てない人は見てくださってなると、市民アンケートは、見直しなのか学校をどうしたらいいかっていうアンケートなのか、難しいけど教育ビジョンのアンケートなんだよっていう捉え方ですよ。

◇事務局　逆に戻ってしまうという当初のビジョンが見せるっていうのはちょっと変だってことですよ。

◇委員　変だというよりも見直しをしたっていう風を書いてあって、でも3-2の資料は教育ビジョンに関する設問ってことは、見直しをしないでこのビジョンのままアンケートを聞いていると捉えられないでしょうか。

◇事務局　見直しをするために皆さんの声を反映させたいっていうのをどこかに入れたほうがよろしいですか。

◇座長　読む、読まないは別にして資料3-1の最初のところに「見直しに向けて意見を聞いてきましたが、今回は市民アンケートで意見を聞かせていただいていますので御

協力お願いします。」っていう時候の挨拶だと思って読み飛ばす人がいたら何も伝わらないですけども、教育委員会としての姿勢はここに現れてはいますよねってところはあと思うんですけど。

今、懸念とか心配っていうことでこういう意見を出してもらいましたので、改めて事務局のほうに預けるということでもよろしいでしょうか。

行政の人間は文章を最初から最後まできちんと読んで理解した上で物事を進めるんで、その癖が当然ありますけど。

それでは他にいかがでしょうか。全体をとおして御意見言っていない方どうぞ。

◇委員 今、娘が中学生なので保護者向けアンケートの立場ですけど、来年から市民向けアンケートの立場になるのでこれを見て思っていたんですけど、PTA 活動をやってるので三崎小学校、岬陽小学校、名向小学校の人数を知っているのだからこれだけ少ないって数字で見てわかるんですけど、田舎から引っ越してきた人とか元々規模が小さかった人にとってはこれが少ないって分からないような気がするんです。だから例えばお隣の横須賀市だとこれくらいで普通の規模だとこのくらいの人数がいるのが今の普通の小学校みたいな感じの数値が入っていないと、いかに少ないかっていうのが分かると、じゃあアンケート答えてみようってなるのかなと思うんですけど、三浦市だけで示していると僕らの常識だと昔から剣小は少ないって、昔は名向が多かったとか当たり前の常識みたいなのはあるんですけど、それが今いる三浦市の人に伝わるのかなっていう風にこのデータだけだと、それを入れたらもう少し答えが増えるかなと思いました。以上です。

◇事務局 簡単にお答えしますと横須賀のほうが非常に難しく、マンモス校もあれば複式に直面する学校もあるんですね。それでは三浦市と一緒にという見方もされてしまうので、だから三浦市の子ども少ないねっていうのが、ある程度で読み取ってもらうしかないかなと思っています。

◇座長 それを含めてお預けするかたちで、その他いかがでしょうか。御発言されていない方でどうですか。

◇委員 聞いていてこのままでもいいんじゃないかなと思って聞いていました。保護者アンケートについても 46.5%という回答率が出たわけですけどもすべての8校からまんべんなく取れているのかなと、そんなに大きくこの学校が違うってところもないですし、おおむね三浦市教育委員会のほうで進めていこうという方針について賛成なのかなっていうのが見えたので、そのまま進めていただけたらっていうのと、あと私はどちらかという数字よりも小学校の教育に最重要視するもの、統廃合とかよりもそっちのほうに気がなっていて、どういうものを地域の方、保護者の方が求めているのかなっていうのがいくつか出てきたのでぜひ取ったデータですので、保護者としてこういったものを三浦市の学校に求められているんだということを踏まえた上で三浦市らしい学校っていうのも今後、統廃合して新しい学校を作っていくと思いますので、このデータをちゃんと見た上で考えていただけたらと思いますし、市民向けアンケートのほうでも学

校に求めるもので基礎、基本的な学力っていうのがないのはどうしてかなと思っていましたので、そこも含めて地域の方が学校についてどういったものを求めているのかも気にしていきながら、粛々と進めて数字だけではなく声を大事にして前に進めて行けたらと思いますのでよろしくお願いします。

◇座長 他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

◇委員 1,200名の回答率を何とか増やしたいと何かいい方法ないかなって思っているんですけど中々ないですね。何%の回答率を求めています。とか書くしかないですね。

◇委員 保護者向けアンケートで未来を生きる子どもたちのためにどのような小学校を希望しますか。という一文はすごいよかったなと思うので、スペースの関係で削られたと思うんですけども、子どもたちのためにみたいなのがこの文章だとあんまり読み取れないので、ぜひ一文だけでも入れてもらえたら回答率も上がるんじゃないかなと個人的には思いました。あとは事務局に一任します。

◇座長 ありがとうございます。市民の熱い思いを伝えるようなものになればと思います。

その他よろしいでしょうか。

(意見等なし)

◇座長 それでは意見交換はここまでにしたいと思います。

続きまして、事務局から事務連絡をお願いします。

◇事務局 事務連絡のほう先程会議の進行の中で言ってしまいましたけれども、まとめたものについては郵送させていただきます。一定期間設けたのち御意見がございましたらお願いします。

この3つのアンケートについては協議会として最終的にはまとめていただきたいと考えておりますので、引き続き御協力をよろしくお願いいたします。

市民向けアンケートについては9月にやりたいと思っていますので、なるべく早期に実施、集計したいと思います。また、結果については皆さんに報告いたしますのでよろしくお願いいたします。

◇座長 御質問等ございますか。いかがでしょうか。

少し時間が過ぎてしまい申し訳ありません。以上で三崎地区・南下浦地区合同令和4年度第2回三浦市学校教育ビジョン地域協議会を閉会いたします。

お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。気を付けてお帰りください。

◇ 20時14分 閉会 ◇